



NEWS



中庭ステージ「ヤルクスト」



PTAのブースは今年も大人気



3年／オリンピックに挑戦



1年／校外学習展



2年／研修旅行展



ボランティア部／体育館での活動紹介



5年／模擬店



科学部／偏光板で遊んでみよう



4年／ジェットコースターでいってらっしゃい

第54回文化祭

【校内発表】平成30年11月9日(金)

【一般公開】平成30年11月11日(日)

今年の文化祭テーマは「PALETTE」です。このテーマの想いに乗って、なぎさ生みんなの個性が詰まった色とりどりの文化祭となりました。一般公開日は天候に恵まれ、多くの方々にご来校いただきました。1年生は八千代での校外学習、2年生は奈良・京都での研修旅行の学びを展示物やポスターセッションなどで発表しました。3年生、4年生は各クラスが趣向を凝らした企画を考え、来場者の皆さんをおもてなしました。5年生の模擬店には長い行列ができ、どのクラスも大盛況でした。また、その他のクラブや団体も来場者の方々に楽しんでもらえるよう、工夫を凝らして文化祭を盛り上げてくれました。今年度は「ヤルクスト」として活動している卒業生が中庭ステージに出演し、大いに盛り上がりました。PTAの皆様には、遊休品、手作り品、食品バザーなどご協力いただき、ありがとうございました。さらに、今年度は「日本赤十字社」を通して、7月の豪雨災害で被災された方々への義援金として来場者の方に募金をお願いし、多くの方に募金をしていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

私たち生徒会役員は6月末からの約4ヶ月間、第54回文化祭に向けて準備を進めてきました。文化祭準備の中で、思うように進まないことや悩むこともありましたが、中高の役員で協力して、無事文化祭当日を迎え、終えることができました。私たち役員にとって、とても良い経験となりました。各学年、クラブ、団体の協力で、「PALETTE」というテーマ通りの生徒それぞれの個性で彩られた文化祭になったと感じています。

高校生徒会長 5年3組 江口 菜南

CONTENTS

●第54回文化祭	1
●5年研修旅行	2・3
ドバイ、台湾、沖縄・伊江島、北海道スキー、新潟・越後妻有	
●3年学習特訓・実力テスト	3
●2年研修旅行	3
●1年校外学習	3
●4年夜間歩行	4
●4年社会人講演会	4
●公開研究授業	4
●大学入試合格速報	5
●クラスマッチ	6
●TOPICS	6
●表彰	6
●CLUB NEWS	6

5年研修旅行／ドバイ

平成30年10月12日(金)～18日(木)

今年度で7回目を迎えるドバイ研修旅行。今回はアラビア書道、砂漠体験、現地の学校訪問や経済特区の見学など従来のものに加え、特別にドバイ警察を見学させていただくという例年にも増して濃密なメニューでした。ドバイでの訛りの強い英語や各見学先で英語で質問することに戸惑いやためらいを感じていた生徒も、旅の後半には何とか質問をするようになりました。各研修先で日本の良さ、ドバイの良さを比較しながら、ドバイの戦略や見通しに感心したり、日本のすばらしさを改めて実感したりして様々なことを学んだ7日間でした。



安倍首相も宿泊した迎賓館にて

ドバイで一番心に残った経験はイスラム教のモスク体験です。美しさもさることながら荘厳な雰囲気、日本とは全く異なる環境の中とても興味深い経験ができました。また、イスラム教の礼拝が行われる時刻を伝えるアザーンが、早朝にホテルにまで聞こえてきて、生活の中にイスラム教が根づいていることが肌で感じられました。今はまだ習慣や文化を知ることができたけなので、学んだことや体験したことを生かし、より深い異文化理解をすると同時に、日本のことを広めたいと感じました。

5年2組 河元 伽夏帆

5年研修旅行／台湾

平成30年10月12日(金)～18日(木)

本校独自のプログラムになり3年目。台北の銘傳大学での英語コミュニケーションの授業体験を兼ねた研修、銘傳大学学生と生徒数名での半日の街歩き、延平高校及び育達高校との交流会、高雄の義守大学学生との交流会、十份での天燈上げ、パイナップルケーキや小籠包の製作などたくさんの体験活動を行いました。中でも3回の交流会によって、生徒一人ひとりが同世代の台湾の高校生や大学生から大きな刺激を受けました。参加した生徒一人ひとりがこの刺激を自らの糧として、進路選択をはじめとする学校生活に意欲的に取り組んでくれるように期待しています。



義守大学交流との交流会

現地の高校や大学との交流を通して、台湾と日本の教育の違いや台湾の学校の語学の学習環境の良さに驚きました。台湾への日本の影響を感じる場面も多くありました。街には、日本企業や日本語の看板があり、日本人だとわかると積極的に日本語で話しかけてくださる方が多くおられました。私は台湾で感じた語学に対する積極的な学習意識を見習い、私自身がこれから多くの言語に関心を持ち学習したいと思います。

5年3組 小野 可鈴

5年研修旅行／沖縄・伊江島

平成30年10月12日(金)～17日(水)



琉球舞踊の練習

19人の生徒は4泊5日の民泊中、沖縄舞踊・三線演奏・沖縄料理体験など、民泊先ごとに様々な体験を行いました。伊江島の人たちは明るく心の温かい人ばかりで、本校の生徒を家族のように接してくださいました。生徒も伊江島の方たちの温かい心に包まれて5日間を満喫していました。民泊先の方に沖縄舞踊・三線の発表を全員で披露した際は拍手喝采で、充実した伊江島での生活を物語る時間でした。最終日、伊江港出港の際に民泊先の方々が雨の中、船が見えなくなるまで手を振って見送ってくださった姿に、生徒も「また伊江島に行く」と強く誓って伊江島を後にしました。

初めは民家の方や伊江島の雰囲気になじめるか不安でしたが、民泊先の方の温かさや優しさのおかげですぐになじむことができました。伊江島の方たちはみんな友達のように仲が良く、他の民泊先の方と一緒に行動することも多かったため、たくさん交流することができました。何より私たちの民泊先の方はとても温かくて面白く、本当に伊江島に来てよかったと感じました。

5年1組 本石 遼圭

5年研修旅行／北海道スキー

平成30年12月23日(日)～28日(金)



仲間とともに過ごした日々

今年も『北海道の大自然を通じて、本物を感じよう』というテーマのもと、北海道を訪れました。到着後すぐに箱根牧場で生キャラメル作りを体験し、その後北海道の雪に触れ、北海道の寒さを感じました。2日目からは、1日約5時間のスキー実習が始まりました。スキー経験によって8班に分かれ、インストラクターの方からレベルに合わせて指導していただきました。全員が最終日の検定合格を目指し自分を追い込んだ結果、41名全員がそれぞれの検定級に合格することができました。優しく粘り強く指導してくださったインストラクターの方に感謝をしながら、自身に自信を持つことができました。また、すべての体験を通して、広島とは違う北海道の寒さや雪質、広さを感じるすることができました。

スキー実習中、班員との協力が必要となる場面が何度もありました。自分ができないことや分からないことについて尋ねたり、教えたりすることで、さらに自分の技術の向上につなげることができました。受け身ではなく積極的に関わることが大切であり、今後活かすことができると感じました。

5年1組 阿部 賢希

5年研修旅行／新潟・越後妻有

● 平成30年12月23日(日)～28日(金) ●

私たちが訪問した越後妻有は、日本有数の豪雪とともに深刻な過疎問題を抱えています。そこでの民泊体験は、豪雪の中での生活の知恵や過疎地域の活性化の取り組みを直に知る良い機会となりました。特に今年度は、出発前にそれぞれ旅の目的をはっきりと定めたことが現地での積極的な活動につながりました。



雪上トレッキング(美人林)での自然観察

受け入れ農家でのおもてなしを受ける中、雪と戯れるとともに地域活性化の取り組みの一環として進められている現代芸術の鑑賞なども行い、大きな学びを得ることができました。



念願のかまくらでのお餅

この度の研修旅行で僕は自然の大きさについて考え、学びました。越後妻有は山や川、雪といった自然に恵まれ美しく広大な場所でしたが、数年前の地震では雪崩による被害がすごかったと何度も聞きました。自分たちにとっては一見魅力的な雪も、災害という形で大きな被害を与えるということを改めて感じました。しかし、越後妻有の人たちは自然と向き合い、感謝の気持ちを忘れることなく、おいしい米を作っていました。受け入れ農家の皆さんは自然が大きいからこそ自分たちも心が大きく持てるとおっしゃっていました。僕は自然と心は共にあると感じました。

5年4組 守本 昇平

3年学習特訓・実力テスト

● [学習特訓] 平成30年10月15日(月)～18日(木)
● [実力テスト] 平成30年10月17日(水)・18日(木) ●

秋休みの4日間、3年生を対象とした学習特訓・実力テストが実施されました。各教科中学校3年間の学習内容を振り返り、高校進学のために必要な基礎学力と、積極的に学習する姿勢を身につけることを目的に、よい緊張感の中で生徒は高い意識を持って臨んでいたように思います。自学自習の時間には、苦手な教科や単元を重点的に取り組む姿や、それぞれの教科の教員のもとへ足撃く通い、終了予定時間になっても積極的に質問する姿がとても印象的でした。その後の実力テストでは、これまでの積み重ねの成果が試されました。中学生として過ごす時間も残りわずかです。高校生になる準備をしっかりと充実した毎日を過ごしてほしいと思います。



中学校総まとめの実力テスト

2年研修旅行／奈良・京都

● 平成30年10月15日(月)～18日(木) ●

3泊4日で奈良・京都に研修旅行に行ってきました。①学びを深める視点を育成する、②集団生活のルールやマナーを身につける、という2つの目的のもと事前学習を行い、「見る視点」を具体化させてから出発したことで、多くの学びを得ることができました。1日目は東大寺・法隆寺を見学し、2日目の午前は明日香村のサイクリング研修、午後には宇治平等院見学ののち、琵琶湖の畔のホテルに宿泊しました。3日目は京都市内を班別タクシー研修、4日目は12コースに分かれてコース別研修を行い、充実した毎日を送りました。また生徒にはこの旅行を行ううえで、とれだけの方々をサポートしていただいているかということ意識させ、「感謝」するということを考えさせる良い機会にもなりました。



東大寺で真剣にメモをとる生徒たち

「まだまだ帰りたくない」と新幹線が広島に近づくにつれて何度もそう思いました。私が一番楽しかったプログラムは、3日目のタクシー研修です。自分たちでコースを考えて京都をめぐる、現地のもを肌で感じられるところが魅力的でした。また、普段よりも長くクラスメートということで、友情をより深いものにできました。学年全員で行く旅行はこれで最後です。ここでの思い出や体験を大切に、それぞれの進む道に活かしていきたいと思っています。

2年2組 新衣梨花

1年校外学習／鶴学園八千代校舎

● 平成30年10月12日(金)～18日(木) ●

五感・規律・責任・協力をキーワードに、クラス単位で1泊2日の自然体験を行いました。八千代は、毎朝霧模様でしたが日中は晴天に恵まれ、森に入ると生徒の五感がみるみる研ぎ澄まされていくのがわかりました。感度が上がった生徒は、自然が発している小さなメッセージも見落とさないようになり、クラス内の別の生徒の動きにも気を配り、思い遣りや協力の行動がとれるようになっていきました。班ごとのプレゼンテーションでは、クラス全体で発見の共有や発想の多彩さを認め合い、この後、夕食で調理したヤマメや丸鶏、朴葉の香り、さらに夜空の星、翌日の石窯ピザや流し素麺なども相まって、宮沢賢治さんの世界観にちょっぴり触れることができました。



森の晩餐会

この約33時間で仲間を思う心、人に教える勇気、相手の心を読む力、自然に対する思い、静と動のきりかえ、ルールを守る大切さなど、たくさんのことを学びました。特に私は「仲間を思う心」を学べたと思っています。だれかが物を忘れていたら貸してあげる、少し声が大きかったら教えてあげるなど、相手を思うことがどれほど大切か改めて学ぶ良い機会になったと思います。後期も同じくらい頑張りたいです。

1年1組 竹土井 夏菜

4年夜間歩行

平成30年10月12日(金)～13日(土)

／広島県尾道市生口島(B&G海洋センター)～愛媛県今治市糸山公園来島海峡展望台



励まし合いながら歩く生徒たち

「人間力(間力・脳力・胆力・体力・愛力)の鍛練」、「己の体力の限界に挑戦し、日常では得られない人生の経験を得る」ことを目的に、約43kmを夜通し歩くというこの行事も、今年で記念すべき10回目を迎えました。前半は、穏やかで美しい瀬戸内の景色の中を、生徒たちはクラスメートとの会話を楽しみながら和気あいあいと歩いていましたが、後半は、足の痛みや睡魔と戦いながらの歩行となりました。しかし、お互い励まし合って、見事最後まで歩き切りました。仲間とともに最後まで歩き切ったことや、友人からかけてもらった優しい言葉などが、生徒たちには強く刻み込まれたようです。

夜間歩行で、1組のみんなとの絆がさらに深まりました。夜通し歩くことに最初は不安の方が大きかったのですが、この活動を通してチームワークの大切さや諦めずに頑張ることの大切さを肌で感じることができました。みんなで励まし合って、力を合わせてこそ成り立つ行事だということを感じました。これからの様々な活動において夜間歩行で培ったものを発揮していきたいです。

4年1組 實信 和香

4年社会人講演会

平成30年11月22日(木)

今年の社会人講演会は、8名の講師をお招きして実施されました。講師の方々には、仕事の内容や仕事への情熱、やりがいや魅力、生き立ちなどを話していただきました。生徒たちは、社会で活躍されている方々のお話に耳を傾け、積極的に質問していました。また、会場の準備から当日の司会進行、記録に至るまで、全ての運営を生徒たちの手で行いました。この経験も大変貴重なものになりました。



メモを取りながら真剣に聞き入る生徒たち



講演内容を踏まえて会場設営を工夫

合澤さんは、好きなことだけやって生きてきたと仰っていて、それはとてもカッコいい生き方だと思いました。死ぬまでにはできないことがあるのが怖いから様々なことに挑戦し、「今」自分がやりたいことに飛び込んでいけるような行動力が素晴らしいと感じました。私は高校に通い、大学に行って自分の職を見つけることがあたりまえで、それ以外に道はないと思っていました。世界中を旅する中で自分のやりたいことを見つけるという生き方に大いに刺激を受けました。

4年3組 山田 千尋

氏名	講師の紹介	講演タイトル
柴田 みつ恵	色でヒトを元気にするLive・Colors 代表	「色と生きる～人のお役にたつことが、自分の生きる力に繋がる～」
岩岡 沙代	中国電力(株)中電病院外科病棟 看護師	人生日々勉強～患者さんから教えていただくこと～
宇佐川 善久	有限会社ケー・サヴール オーナーシェフ	生き方は考え方しだい
小田原 進	松本金型株式会社M-M販売事業部 部長	金型製造技術を活かした新事業の確立
田中 千秋	田中法律事務所 弁護士	為せば成る
弥中 敏和	株式会社GKデザイン総研広島 代表取締役社長	考える職業としてのデザイン
黒田 千晴	AGRI オーナーシェフ, POTLUCK主宰	自分の中に眠るすごい自分を見つけよう ～眠る遺伝子を呼び覚ませ!～
合澤 嘉輝	株式会社CUBE 代表取締役, CUBE鍼灸整骨院 院長	好奇心と探究心と今ここにいるオリジナルの自分

(敬称略)

公開研究授業

平成30年11月27日(火)

「主体的な学び・深い学びを育む授業～生徒の疑問をどう引き出すか～」をテーマに、公開研究授業が行われました。昨年度から始まった試みであり、今年で2回目です。今年度は学園関係者をはじめ、県内の学校のみならず企業や塾関係者、また県外の学校からの参加もあり、外部からの申し込みだけで80名を超え、反響の高さが伺えました。

公開研究授業後の研究協議では、70分という時間では語りつくせないほどの熱い議論が展開されました。またカリキュラム・マネジメントの第一人者である田村知子先生(大阪教育大学大学院連合教職実践研究科教授)の講演では、カリキュラム・マネジメントの理論と方法についてわかりやすくご教示いただきました。「カリキュラム・マネジメントを行うのは私たち教職員一人一人である」、「日々の教育実践を検証し、改善していくことからカリキュラム・マネジメン

トははじまる」ということを田村先生の講演から学ぶことができました。講演会参加者にとっても、各校での学校づくりの参考となったことでしょう。

公開研究授業は生徒だけでなく、教員にとっても主体的な学びの場であり、そこから得たものは必ず日々の授業改善に生かされていくに違いありません。



公開研究授業(英語)



研究協議(数学)

大学入試合格速報

1月19日(土)・20日(日)に大学入試センター試験がありました。6年生は、私立大学入試、国公立二次試験に向けてラストスパートをかけています。そんな中で一足早くAO入試や推薦入試などで将来の夢への第一歩を踏み出した生徒もいます。勉強や進路について模索している中学生や高校生のみならず、先輩たちのメッセージをしっかりと受け止めて、先輩の後に続きましょう。



明石 野乃香 (6-5)

大学名
国際基督教大学
教養学部 アーツ・サイエンス学科

志望理由

人と動物の関わり方に興味があり、将来は野生動物保護活動に関わることを希望しています。そのために必要な俯瞰的視野を持ち、他者との対話力を向上させると同時に語学力を鍛え、自分自身をより高めたいと思っています。

やってよかったこと

自分が興味を持ったことは、分野を問わず何でも挑戦したことです。色々な経験や知識を得ることができ、自分とは違った価値観を持つ人に出会えたことで交友関係も広がりました。時には自分にとって苦手なこともありましたが、諦めずに挑戦することで克服できました。また、5年間管弦楽部を続けたことで忍耐力を身につけ、一生付き合える仲間を得ることができました。



加世田 美友 (6-2)

大学名
国際基督教大学
教養学部 アーツ・サイエンス学科

志望理由

少人数教育の充実した英語プログラムや、文系、理系を問わず自分の興味を持った分野を学ぶことに魅力を感じました。大学では色々なことに興味関心を持ち、自分が学びたいと思うことを見つけ、また世界で通用する英語力を身につけ、将来の方向性を見極めていきたいと考えています。

やってよかったこと

6年間のテニス部での活動と、毎日の授業を大切にしたことです。部活動では大変なこともありましたが、最後までやり遂げたことが自信につながりました。また、学習は授業の中で理解することを心がけ、効率よく勉強できたおかげで部活動と勉強を両立させることができました。



金谷 歩実 (6-4)

大学名
早稲田大学
創造理工学部 建築学科

志望理由

「建物」と「人」は生活のうえで密接な関係があるので、将来人が安心して快適に過ごせる安全な建物を建てたいと思っています。平成26年、30年に広島で起こった大きな豪雨災害をきっかけに、建物を建てようというだけでなく自然環境も深く考えなければならないと感じました。大学では周囲の環境を考慮し、光、風、熱などを利用した空間デザインの手法を学んでいきたいと思っています。

やってよかったこと

サッカー部の主将としてリーダーシップ、さらには忍耐力、強い精神力を養うことができました。挨拶、時間厳守など当たり前のことだけではなく、他の人のためやチームのために行動することの大切さを学ぶことができました。クラブ活動で得たことは学習面においても大いに役立ちました。



風呂中 里菜 (6-1)

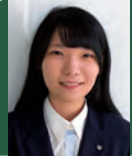
大学名
北九州市立大学
外国語学部 国際関係学科

志望理由

東アジアを含め世界各国の地域情勢を学ぶためにこの大学を選びました。韓国語や中国語などの言語だけでなく、文化も学び東アジア地域の理解を深めたいと思います。また、大学や地元で行われる外国人との交流を通して実践的なコミュニケーション能力を高めたいと思います。

やってよかったこと

外部交流プログラムに参加したり、語学検定試験をうけたことがよかったです。交流プログラムで現地の学生と交流をし、異文化を直接体験することで視野が広がり、また大学で学びたいことが明確になるきっかけとなりました。



内藤 百香 (6-3)

大学名
慶応義塾大学
文学部 人文社会科学

志望理由

私は以前から人間関係に興味がありました。人と友好的にコミュニケーションをとるための環境づくりや、人の心を開くにはどうすればいいかといったことを学びたいと思っており、言語だけでなく社会や自然など多元的な視点から「人」について研究できる大学を選びました。大学2年生から専攻を決めることになるので、一般教養もしっかり学んだうえで関心のある分野を専攻し、人間関係に対する学びを深めたいと思っています。

やってよかったこと

中学校3年生から慶応義塾大学を第1志望にしており、志望校を早くから決めておいたことがよかったです。もちろん進路は変わることもありますが、早く志望校を決めたことでモチベーションを保って学習に取り組むことができました。また、ボランティア部で部長を務めたことも受験勉強を乗り越える力になりました。ボランティア部では障壁のある方やホームレスの方々など多くの人と関わったことで視野が広がり、人について学びたいという気持ちがますます強くなりました。



白石 優生 (6-1)

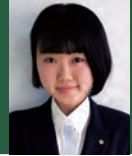
大学名
慶応義塾大学
法学部 政治学科

志望理由

大学では1・2年次に学ぶ政治学の基礎学習をもとに、3・4年次では政治史について深めていきたいと思っています。過去の政治的な出来事から良い点や悪い点を見つけ、現代の社会に活かすことができる術を考えたいと思っています。また塾生や教授の方々と議論を行っていくことで、自分一人ではわからなかった考え方や視点を吸収し、コミュニケーション能力を養い、客観的、多極的な視野を身につけたいと思います。

やってよかったこと

「余裕」を常に持っていたことがよい結果につながったと思います。一歩先を見越した勉強や準備を行いました。6年生の夏休みは入試のための小論文、志望理由書、面接の対策をするための時間を確保したかったため、5年生の1月から本格的にセンター試験対策を始めました。おかげで、7・8・9月は余裕をもってAO対策に取り組むことができました。夏休みは受験生にとって大きな試験の時期です。何事も余裕をもって行うと精神的にもプラスになると思います。



高嶋 礼奈 (6-2)

大学名
広島大学
文学部 人文学科ドイツ語文学語学コース

志望理由

小学生の時、3年間ドイツで過ごしました。その時に感じたドイツ人と日本人の価値観や文化の違い、また共通点に戸惑いを感じた反面、興味を持ちました。大学ではドイツ語も改めて学びなおし、ドイツについてより深く学びたいと思っています。また留学制度が充実しているので、ドイツに留学をして現地でのことを五感で感じ、さらに学びを深めたいと思っています。

やってよかったこと

「広島市国際青年ボランティア」に登録をしていたことで、中高の6年間茶道部に所属していたので、海外からの観光客の方を茶道でもてなしたり、英語を使って積極的にコミュニケーションをとったりすることができました。校内の「留学生ガイド」に参加する際に自己アピール文を書いたことがAO入試での自己推薦文に役立ちました。AO試験は一次試験がゼミナールと英語の記述試験、二次試験は面接でした。AO試験の準備でセンター試験に向けての学習がおろそかになるのではと心配になることもありましたが、諦めずに頑張ることができたので良かったです。

平成31年度入試大学合格状況 (AO・推薦)

[国公立大学]

H30.12.14現在

大学	学部	合格数	
		現役生	過年度生
京都工芸繊維大	工芸科学		1
広島大	文	1	
九州工大	情報工	1	
北九州市立大	外国語	1	

[私立大学]

大学	学部	合格数	
		現役生	過年度生
慶応義塾大	文	1	
	法	1	
国際基督教大	教養	2	
上智大	文	1	
女子美大	芸術	1	
中央大	商	1	
東海大	体育	1	
東邦大	薬	1	
明治大	文	1	
	法	1	
	経営	1	
	商	1	
立教大	法	1	
	観光	1	
早稲田大	創造理工	3	
京都外大	国際貢献	1	
京都女子大	現代社会	1	
同志社大	政策	1	
	理工	1	
龍谷大	文	1	
大阪芸大	芸術	1	
関西外大	外国語		1
	英語キャリア		1
大阪保健医療大	保健医療	2	
大手前大	健康栄養	1	
関西学院大	文	2	
	法	1	
	総合政策	1	
	経済	1	
	国際	1	
環太平洋大	体育	2	
比治山大	現代文化	1	
広島工大	工	2	
安田女子大	文	1	
	教育	1	
	薬	1	
	看護	1	
	家政	1	
広島国際大	薬	1	
立命館アジア大	太平洋		1

	1年	2年	3年	4年	5年
ソフトボール優勝	3組	1組	1組	6組	2組
男子バレー優勝	5組	3組	3組	2組	4組
女子バレー優勝	4組	1組	6組	3組	5組
卓球優勝	1組	1組	3組	2組	4組



TOPICS

第7回日本学校合奏コンクール2018全国大会
グランドコンテスト

中高管弦学部

日程：平成30年11月3日(土)
場所：けんしん郡山文化センター 大ホール(福島県)
成績：奨励賞



学校合奏コンクール

第46回バトントワーリング全国大会

高校バトン部

日程：平成30年12月8日(土)
場所：幕張メッセ イベントホール(千葉県)
成績：銀賞



演技終了後、笑顔でポーズ

表彰

第57回日本語・英語スピーチコンテスト
(日米協会岩国主催)

日程：平成30年11月4日(日)
成績：(高校生部門)第1位 河元 伽夏帆(5-2)
(中学生部門)第1位 新 衣梨花(2-2)

第16回広島県高校生英語スピーチコンテスト
(福山大学主催)

日程：平成30年11月17日(土)
成績：第1位 山内 あおい(5-3)
第3位 佐々木 彩乃(5-3)

2018年度第2回実用英語技能検定

成績：1級 中島 渉(4-6)

毎日新聞社主催
第7回私のアイメッセージコンテスト

成績：文部科学大臣賞 竹本 沙代(2-3)
学校賞 広島なぎさ中学校

平成30年度全日本通信珠算競技大会
広島県大会(中学生の部)

成績：第3位 堀内 暖美(2-5)
貫里 遥己(3-4)
吉岡 瑛斗(3-4)

平成30年度広島市科学賞

成績：教育長賞 田中 結菜(2-4)

平成30年度中学生の「税に関する作文・習字」

成績：[作文]
廿日市税務署長賞 高橋 慧(2-5)
広島西南法人会会長賞 森田 涼楓(3-6)
廿日市間税会会長賞 岸 凧咲(3-4)
大竹佐伯地区納税貯蓄組合連合会会長賞
大原 千尚(3-1)
花谷 豊(3-1)
眞次 音(3-3)
田中 結菜(2-4)
[習字]
広島県納税貯蓄組合総連合会会長賞
貫里 遥己(3-4)

CLUB NEWS

高校陸上部

●第57回広島県高等学校新人陸上競技選手権大会
日程：平成30年9月22日(土)・23日(日)
成績：男子三段跳 坂元 友斗(5-4) 第6位
女子100Mハードル 山田 千尋(4-3) 第3位

高校硬式テニス部

●第71回広島県高等学校新人テニス競技選手権大会
日程：平成30年9月29日(土)・10月7日(日)
成績：男子シングルス
小林 遼河(5-5) ベスト16
安達 隆太郎(4-5)・大西 瑛士(5-5) ベスト32
男子ダブルス
小林・藤井ペア ベスト16
女子シングルス
松井 江美里(5-3) ベスト8
古谷 奏波(4-1) ベスト16
女子ダブルス
松井・古谷ペア ベスト4

●第12回中国高等学校新人テニス競技選手権大会

日程：平成30年11月17日(土)・18日(日)
成績：男子シングルス
小林 遼河 ベスト32
大西 瑛士 ベスト32
女子シングルス
古谷 奏波 ベスト16
女子ダブルス
松井・古谷ペア 第5位
●第59回広島県高等学校テニス選手権大会 広島地区大会
日程：平成30年12月15日(土)・16日(日)
成績：男子シングルス
後藤 凜太郎(5-5)、大西 瑛士、小林 遼河、
大貫 颯太(4-3)、安達 隆太郎 以上、県大会出場
男子ダブルス
後藤・大西ペア、小林・藤井 翔太(5-1)ペア、
安達・奥田 麟太郎(4-5)ペア 以上、県大会出場
女子シングルス
松井 江美里、古谷 奏波、岩元 美樹(5-5)、

木村 心咲(5-2) 以上、県大会出場
女子ダブルス
松井・古谷ペア 県大会出場

高校水泳部

●第6回中国高等学校新人水泳競技選手権大会
日程：平成30年10月20日(土)・21日(日)
成績：柘井 萌(4-2)
400m個人メドレー 第1位(大会新記録)
400m自由形 第2位
小西 咲良(5-5)
800m自由形 第4位
400m自由形 第5位

放送部

●第3回「なくそう!特殊詐欺被害」高校生CM甲子園
日程：平成30年10月20日(土)(表彰式)
成績：30秒CM部門 準グランプリ